

(1)事業の概要等

令和7年度 詳細評価シート

事業番号	B1003		事務事業名	休日急病診療所運営事業			事業期間	昭和63年度以前	～	令和9年度以降								
実施計画事業			担当部	健康生きがい支え合い推進部			担当課・担当係	保健センター 予防検診係										
評価対象年度	令和 6 年度	分野別計画編	基本 施策	10	展開 方向	3	事業区分	その他(評価対象)	款	4	項	1	目	1	大	5	中	1
事業の概要・展開	小牧市まちづくり推進計画(R5年～R8年)	休日における急病患者に適正な医療を提供し、それによって市民の生命と健康保持に寄与することを目的とする。																
	事業の目的・効果	事業概要 休日における一次救急医療を提供するため、内科・小児科・外科・歯科の診療を実施しました。 ・診療科目 : 内科、小児科、外科、歯科 ・診療日 : 日曜日、祝日、年末年始(12月31日から1月3日) ・診療時間 : 午前9時から正午、午後1時から午後5時(内科、小児科、外科) : 午前9時から正午(歯科)																
事業の経緯・年度計画	昭和53年新町三丁目地内に開設。当時は内科・小児科 平成16年に現在地へ移転。診療科に外科、歯科を追加 運営は小牧市医師会、小牧市歯科医師会、小牧市薬剤師会へ委託している。 令和2年度より運営の中心を小牧市医師会より保健センターへ移管、勤務医の管理等は引き続き小牧市医師会へ委託 令和6年度の診療日は71日、患者数は内科2,195人、小児科1,175人、外科338人、歯科114人の合計3,822人																	

(2)事業費

事業費	項目	単位等	R3	R4	R5	R6	R7
			直接経費	決算額	千円	36,980	5,320
	財源						
	一般財源						
	国・県支出金		0	0	0	0	
	その他		14,780	59,157	60,691	47,233	
	計(A)		51,760	64,477	60,691	64,739	
	対前年比	%	—	124.57%	94.13%	106.67%	
	予算額	千円	63,640	64,958	64,642	64,322	64,658
人件費	正規職員	人	0.5	0.5	0.5	0.5	
	会計年度任用職員	人	0.15	0.15	0.15	0.15	
	人件費(B)	千円	4,159	4,159	4,159	4,159	
事業費合計(C=A+B)		千円	55,919	68,636	64,850	68,898	

(3)業績

指標	指標ほか	単位	R3	R4	R5	R6	R7
			成果指標	休日急病診療所の適正受診者割合	%	—	—
活動指標	—	—	目標	—	—	—	—
			実績	72	72	79	79
			目標	—	—	—	—
			実績	—	—	—	—

(4)事業の評価

事業の方向性	維持(改善)	単位	事務事業評価による額	0 千円
事業の実施状況	令和6年度は総計3,822人(うち、市内在住者3,126人)の市民が休日急病診療所を受診していることや、適正受診者割合も79.2%と上昇していることから、休日における急病患者に適切な医療を提供するという目的は達成されていると考える。			
事業の目的の達成状況及び指標の達成状況	診療料 R3 14,780千円 R4 59,157千円 R5 62,421千円 R6 47,233千円 受診者数 1,509人 3,357人 4,390人 3,822人		今後の実施内容 医療に携わる人材の確保が課題となっているが、医師の勤務を管理している小牧市医師会より、会員の外科系医師の減少と高齢化等に起因して外科の診療の負担軽減を求める声をいただいた。外科の患者数などを勘案し令和7年度より外科の診療日を5月の連休と年末年始のみとした。それにより委託料が5,655千円の減額となった。 「休日における急病患者に適正な医療を提供する」ことへの市民ニーズは根強いと思われるが、持続可能な医療の提供のため費用対効果を考慮しつつ、患者数の少ない外科、歯科の在り方を検討していく。	
E(廃止)業務自体を無くせないか	No	改善 取組内容	・外科、歯科診察の在り方を検討する。 ・見直しによる診察日の減少により市民の不利益とならないよう、診察日の広報、周知を行う。 ・継続的な診察を維持するため医療従事者の人材確保に努める。	
C(結合)作業をまとめられないか	No			
R(入替・代替)手順や担当を変えられないか	Yes			
S(単純化)もっと簡単にできないか				